

## 夏油高原スキー場の 運営事業者決定

夏油高原スキー場施設使用貸借仮契約調印式は6月25日、本庁舎で行われました。新たな夏油高原スキー場の運営会社に決定したのは、株式会社クロスプロジェクトグループ(長野県白馬村・辻隆代表取締役)。契約期間は7月1日〜平成35年6月末まで、スキー場のセンターハウスやゴンドラ、リフトなどのほか、圧雪車などの動産、市が国から借りている土地も無償貸与する契約です。

7月から市が所有する夏油高原スキー場施設の運営公設民営を行う事業者について、公募によるプロポーザル方式の選定を行うため、6月3日〜14日まで公募。応募があった事業者からの提案を選定委員会において厳正に審査した結果、同社に決定したものです。

なお、この仮契約は6月27日の市議会で「財産の無償貸

## 企業間交流事業

### 「企業間プラス北上ぐるりバスツアー」

企業間交流事業「北上ぐるりバスツアー」は20日、主に市内の企業に勤務している社員を対象に行われました。

参加者は、市内外の工業団地やみちのく民俗村、鬼の館、夏油高原スキー場などの市内観光施設を見学したり、展勝地レストハウスで特別ランチを食べながら交流を深めました。

この企画は、市内とその近

隣地域の企業の従業員がサポーターとなり、企業間交流事業実行委員会を結成。さまざまな交流事業を企画・立案し、交流を通じてスキルアップを図ると共に、事業を通じて、まちの活性化・地域貢献を目的としています。

- 協力企業は次の通りです。
- 岩手東芝エレクトロニクス(株)
- 岩手ヤクルト工場(株)
- 岩手マキセル(株)
- 日立オートモティブシステムズハイキヤスト(株)
- Meiji Seikaファルマ(株)
- アジテック
- 北上信用金庫



仮契約書を取り交わす辻代表取締役(右)と高橋市長



みちのく民俗村を見学する参加者

し付けに関する議案」が可決され、本契約として締結になりました。

## まちづくりチャレンジ補助金 採択結果

市民公募型協働事業補助金(まちづくりチャレンジ)の審査会と公開プレゼンテーションは4日、市民交流プラザで行われました。

かみ市民活動基金採択事業2件を決定しました。選ばれた事業と団体は次の通りです。

これは、地域社会の課題解決や地域活性化を図る市民活動、地域コミュニティ活動、企業の地域貢献活動といった自発的な公益活動を応援し「協働によるまちづくり」を実現しようとするものです。

- 「きたかみヒストリーナビゲーターの会(仮称)設立事業 特定非営利活動法人きたかみツーリズムプロモーション」
- あづま海道道標設置および路線詳細地図作成事業(北上あづま海道歩学会)
- 子育てネットワーク構築事業(きたかみ子育てネット)
- 地域活性化事業「親子ふれあいチャレンジ(特定非営利活動法人きたかみ観光NEXT)」

## セアカゴケグモに注意!!

●環境課 ☎72-8281

7月4日、16日に市内で特定外来生物のセアカゴケグモが発見されました。セアカゴケグモのメスは毒があり、体長は0.7〜1センチ。全体に光沢のある黒色で背中に目立つ赤い帯があります。攻撃性は少ないですが、かまされると激しい痛みとともに腫れなどの症状が現れます。もし、かまれたときは速やかに医療機関に相談してください。

発見したときは決して素手で触らず殺虫剤をかけるか踏み潰して駆除してください。



## 被災地の復興に向けて 相互協力体制を再確認

市と特定非営利活動法人いわて連携復興センターは平成23年5月12日から締結していた復興協働支援協定を27年5月11日まで延長しました。

東日本大震災により甚大な被害があつた沿岸被災地の復興活動を相互協力し、継続して支援することを確認しました。



相互協力体制を再確認したいわて連携復興センターの鹿野順一代表(左)と高橋市長ら

## 花植えて復興支援

### 花いっぱい運動釜石市復興支援事業

市花いっばい運動推進協議会(齋藤康会長)は12日、釜石市鶴住居地区の花壇への植栽を行いました。



植栽を行った鶴住居地区の人と市花いっばい推進協議会委員など

植栽を行ったのは、津波の被害を受けてから整備されていない国道45号線沿いと、かまいしワーク・ステーションの前庭。未整備だったため、事前に岩手県建設業協会北上支部の協力で整地作業などを行い、サルビアやマリーゴールドなど2200本の花を植え、復興に向けたまちづくりの支援を行いました。

これは、市に寄せられた義援金を元にした被災者支援活動費補助金を活用した事業です。

## ふるさと北上 応援寄附

「ふるさと北上応援寄附」は、北上市のまちづくりを応援していただく、ふるさと納税制度です。皆さんのあたたかいご支援に感謝します。

○櫻井智子さん(千葉県習志野市)○菊池みゆきさん(大阪府大阪市)○田口綾子さん(東京都大田区)○竹澤健一さん(東京都大田区) (4月1日〜6月30日受け付け)

▽申し込み・問い合わせ：財政課 ☎72-8249

## 市内の避難者状況

(6月30日現在)

田野畑村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市
1世帯	10世帯	27世帯	76世帯	56世帯
4人	16人	61人	147人	138人
大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	市内間
17世帯	35世帯	22世帯	21世帯	4世帯
33人	60人	52人	57人	8人

※市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

## 子どもたちの大群舞



北上みちのく芸能まつりが、8月2日から4日にかけて開催される。昨年までは土・日・月曜日の開催であったが、今年からは金・土・日曜日の開催に変更になった。

今回の見どころは、何と言っても駅前大通りのお祭り広場において、初日の8月2日、市民パレードの最後を飾って、子どもたち(鬼剣舞育成団体)による鬼剣舞の大群舞が行われることだ。この芸能まつりには、毎年全国各地から民俗芸能のファンや研究者が多く訪れるが、初日の鬼剣舞大群舞についてはだいぶ以前から要望されていた。市民憲章に「鬼すむ誇り」と謳っている北上市であるが、一層「北上らしい」まつりに近づいて来たのではないだろうか。

3年後の平成28年は、二巡目の岩手国体が当市を主会場に開催される。昭和45年の国体では、私は当時中学生で、歓迎の鬼剣舞大群舞を踊っている。今では、鬼剣舞に取り組んでいる小中学校は少なくなっているが、逆に幼稚園や保育園の園児たちがかわいい踊りを見せてくれている。高校では、伝統の北上翔南高等学校文化祭において日本一に輝いた。これを機会にさらに多くの小中学校や高校、幼稚園、保育園にも取り組んでいただき、市の玄関口でもある北上駅前のお祭り会場をもっと盛り上げていただきたいものである。3年後の岩手国体に、老若男女、多くの北上市民が鬼剣舞大群舞を踊って歓迎すれば、相当のインパクトになるのではないだろうか。

開催間近の北上みちのく芸能まつり。ぜひ多くの皆さんにご覧いただき、声援を送っていただきたい。そして、市民一人一人の「鬼すむ誇り」と震災復興への祈りを全国に発信していただければ幸いです。